

芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム現地説明会 ご意見と回答

当日いただいた主なご意見	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総工費は。運営費・維持費は。</li> <li>・ 今回の整備で本当に集客が見込めると思っているのか。</li> <li>・ もっと整備費を下げないと市民が納得しない。</li> </ul>	<p>町田市全体の公園における維持管理の予算は減少傾向にあるなか、限られた予算の中でも市の責務として安定的な歳入の確保に努めながら、未来へつなげる投資、町田市のポテンシャルを更に引き出す事業として「芹ヶ谷公園“芸術の杜”プロジェクト」を進めております。</p> <p>(仮称)国際工芸美術館(以下、工芸美術館)については、芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクトの中心となる事業のひとつであり、文化を次世代につなぐ事業として、国際版画美術館(以下、版画美術館)、そして芹ヶ谷公園と一体的に整備を進めるものです。また、いかに効率的に公共施設を維持管理していくかを定めた「町田市公共施設再編計画」の視点に沿っても、既存の版画美術館と接続し、機能や設備の共有・連携を図ることで、単独で整備するより大幅に面積を削減するよう計画しております。</p> <p>整備費用につきましては、工芸美術館に約28億5,300万円、版画美術館の改修に約3億6千万円、体験工房の整備が約8億円と予定しております。ランニングコストについては、版画美術館の面積との比較で単純計算すると、二つの美術館を一体管理することのメリットも考慮していない数字にはなりますが、1年間で約3,700万円と算出しています。</p> <p>財政的な負担軽減も考慮し、工事の時期を段階的に行うよう計画しておりますが、いただいたご意見も踏まえながら、事業費の削減を図ってまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な意見があり、全てを反映することは難しいと思うがコストはあまり膨らまないようにしてほしい。その中で車イスの方のバリアフリーの確保や若い方も公園に来れる取組を検討し、続けてほしい。</li> <li>・ 園路のバリアフリーの幅は問題ないのか。園路の通行できる時間帯は。</li> <li>・ 小田急線側のスロープは、法令で設置を定められているのか。木を切つてまで整備する必要があるのか。(わたしはそうは思わない)</li> <li>・ 公園内の整備するスロープは2mとのことだが、自転車と車イスの方は交差することはできるのか。</li> <li>・ 園路に自転車で通ると危険なのでは。</li> </ul>	<p>主要な園路やバリアフリーの経路については、公園内の回遊性の向上や中心市街地とのつながりを考慮した上で計画しております。園路の幅員や勾配については「福祉のまちづくり推進条例」に準じた整備を行います。</p> <p>なお、公園内は自転車をおりて、押していただくようお願いしています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新設のトイレができたせいで景観が悪くなった。</li> <li>・ 園内に新設のトイレが整備されて良かった。明るくなったことで、たむろする者が減った。</li> <li>・ トイレを新しく整備したことで、公園のイメージが変わり良くなった。</li> <li>・ 小田急線側のトイレについて、公園のイメージを変えるためにもきれいにしたほうがよい。</li> </ul>	<p>いただいたご意見を参考に、今後もトイレを気持ちよくご利用いただけるよう、維持管理に努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜公園に泊まる取組など、公園を活用する取組も進めてほしい。</li> </ul>	<p>これまで市民参加型の公園活用実証実験や公園の将来像をイメージするようなイベントを企画してきました。企画に参加した方々のご意見等も参考に、今後も公園の活用について取り組みを進めていきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二駐車場についても整備してほしい。</li> </ul>	<p>周辺の道路の整備状況にあわせて、都営住宅跡地を中心に駐車場の整備を検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前と比べて、公園は明るい印象になり、来園しやすくなってきていると思う。もう少し、公園に入るというところの整備も進めてほしい。</li> <li>・ 公園の樹木の手入れをしてほしい。</li> <li>・ 来園者のためのベンチが少ない。既存園路にもみじ園を見渡せるベンチがあるとよい。</li> <li>・ もみじ園が知られていないのは、メンテナンスがされていないからである。</li> <li>・ もみじ園は前は紅葉もしなかったが、木を適度に伐採して日当たりが良くなったせいか紅葉するようになった。</li> </ul>	<p>公園内の雑木林については、植生管理として適切な樹木の更新を行うことで、明るい空間を確保していくよう検討を進めております。</p> <p>来園された方がくつろげる居場所としてベンチやテーブル、縁台など公園各所に新設する予定です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文学館方面からのエントランスの桜並木の階段にスロープは必要ない。</li> <li>・ 文学館入口の階段踊り場は子ども達の遊び場になっている。市民の憩いの場を取り上げないでほしい。</li> <li>・ デッキについては、バリアフリー動線であれば、せりがや会館側の入口からでもよいのでは。なぜ文学館側の入口のスロープが必要なのか。</li> <li>・ スロープ整備によって文学館入口脇の数カ所の通り抜けが潰れてしまい、不便ではないか。</li> </ul>	<p>文学館方面からのエントランスは公園の主要な入口の一つと位置づけております。車いすをご利用されている方やベビーカーで訪れる方等、誰もが気軽にご利用いただく公園として桜並木の階段部にスロープが必要であると考えております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もみじ園のデッキスロープを整備しなくても、もみじ園の木を剪定すれば既に良い場である。</li> <li>・ デッキスロープの整備は自然破壊である。もみじ園の認知度を上げることより、デッキで自然の中に入って緑を見る必要性はない。</li> <li>・ デッキを整備したとしても、来園者はもみじ園を素通りするのではないか。</li> <li>・ 薬師園西園のように、橋の景観ともみじ園の関係を考慮いただきたい。</li> <li>・ デッキスロープを作らないといけない理由について、バリアフリーのためというだけでは理由にならないと思うが。</li> <li>・ デッキスロープを新たに整備しても、メンテナンスも含めてコストがかかる。もみじ園を認知させる方法は他にもあるのではないか。</li> <li>・ もみじ園を通るデッキスロープの整備や工事車輛の搬入等の今回の整備にあたってどの箇所を木を何本伐採するのか。それを市民に示していくべきなのではないか。概算工事費の算出で、木の伐採の本数が算出できるのではないか。</li> <li>・ 整備に伴って木が無くなってしまふ。景観ではなく市民の憩いとしての緑を壊すことは良くないと考える。</li> <li>・ このままの自然がいい。</li> <li>・ 伐採してもよい木も多いのではないか。</li> <li>・ 木は切っても、また生えるでしょう。</li> <li>・ 公園が変わっていくことを楽しみにしている。木の伐採についても多少は必要だと思うため、環境に配慮し必要最小限に留めながら進めていってほしい。</li> </ul>	<p>もみじ園のデッキスロープは文学館方面から国際版画美術館や工芸美術館への主要な経路として整備する予定です。もみじ園を見下ろす新たな景色を楽しめるスポットにもなり回遊性の向上にもつながるものと考えております。</p> <p>もみじ園のデッキスロープは既存の樹木への影響を配慮した基礎構造とする予定です。その上で既存樹木の伐採が7本程度発生致します。もみじ園については明るい空間を確保する為、樹木の更新も必要であると考えており、紅葉を中心とした新たな配植を含め検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デッキスロープの地面からの高さはどれくらいになるのか。</li> </ul>	<p>一番高いところで約10m程の高さになります。</p>

芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム現地説明会 ご意見と回答

当日いただいた主なご意見	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デッキスロープを整備した際に、安全性に懸念がある。</li> </ul>	<p>転落防止等については安全性に配慮した構造と致します。また、防犯等の対策も含め夜間照明を設置する予定です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エレベーターではなく、動く歩道を使用して下の方へ降りる形はできないのか。</li> </ul>	<p>高低差が大きいため延長も長くなるので施工も難しく、工事費も高くなるため、現在は計画しておりません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デッキスロープは自転車を通る想定をしているのか。</li> </ul>	<p>公園内は自転車をおりて、押していただくようお願いしています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文学館側の入口や、せりがや会館側の入口の支柱は壊すのか。</li> </ul>	<p>公園の入口として、再整備を契機に公園全体で適切に整備をしていきたいと考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美術館をつくるにしてもコンパクトにして欲しい。</li> <li>・ 工芸美術館の必要性が理解できない。</li> <li>・ 工芸美術館なんて必要ない。今の本町田の所でいい。</li> <li>・ 収蔵庫が大きすぎるのではないかと。なぜ大きさが必要なのか、市民が納得できる情報を提示してほしい。</li> <li>・ 収蔵庫が必要なのは理解するが、工芸美術館の収蔵庫は計画の場所になぜ作らないといけないのか。第一駐車場に整備する方が木の伐採もなくいいのではないかと。</li> <li>・ 収蔵庫が大きく感じる。</li> <li>・ 収蔵庫のボリュームは本当に適正か。もっとコンパクトにすべきではないか。</li> <li>・ 工芸美術館整備に伴ってどれくらい斜面を掘削するのか</li> <li>・ 工芸美術館を斜面地に整備することで、土砂の搬出量はどれくらいになるのか。整地費は。</li> <li>・ 工芸美術館の外壁の仕上げについて。(素材・耐久性)単価はいくらか。</li> <li>・ 工芸美術館整備の㎡単価はいくらか。</li> <li>・ 工芸美術館手前のブリッジも盛り土をつればロビー側につき出なくてもいいのではないかと。</li> <li>・ ブリッジの出ている部分をなくした方が、市民の危険な使用による事故が減るだろう。</li> <li>・ 版美内部の改修予定場所も見たい。</li> </ul>	<p>(仮称)国際工芸美術館は、町田市公共施設再編計画に基づき閉館した博物館の収蔵品や活動を引き継ぐ施設です。その整備については、2009年度に実施した「町田市博物館等の在り方に関する市民アンケート調査」以降、学識経験者や地域のまちづくり団体の方などによる外部の専門委員による検討委員会など、多くの方に携わっていただき、現在の方向性やあり方を導いてまいりました。建物規模についても2018年度以降、本計画の見直しを行っていきなかつ、前設計より縮小し計画をしております。今後も整備内容について、丁寧に説明や意見交換を行い、より多くの方にご理解頂けるよう引き続き努力してまいります。</p> <p>工芸美術館の位置については、前述の博物館のあり方の見直しから始まったこれまでの検討の中で、有識者による検討結果も踏まえて、2014年度策定した基本計画で版画美術館の北側、つまり現在の計画地のあたりと決まったものです。</p> <p>収蔵庫を第一駐車場に置くケーススタディも行いましたが、収蔵庫から展示室までの搬出入の往来について課題もあり、公園と美術館の関係性、建物規模を前回の基本設計より小さくする前提などを考慮した際に、平地に独立して立つというよりは、地形に沿うように建てることによって、景観が公園に馴染む現在の計画が最善と考えています。</p> <p>また、今回の整備計画において発生する土砂の搬出量や整地費用についても、建設場所が斜面地であることにより、平米単価で考えた場合は割高になりますが、今の配置や形状としたことで、「パークミュージアム」というコンセプトに沿い、公園や国際版画美術館との連携や繋がりを実現すると共に、美術館に必要な機能を2つの建物でできるだけ共有して一体化することにより、2館トータルでの維持管理コストの削減も見込んでいます。今後の実施設計のなかでも引き続きコストの削減を検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後工事車両が入ることによって、園内の動線が途切れることがないようにしてもらいたい。子どもの通学路にもなっているため、安全について必ず配慮してもらいたい。今は、学童を利用している児童も多いのでその(学童帰り)時間帯も含めて考えて欲しい。</li> <li>・ 工事中の市街地からの動線経路について、舗装について</li> <li>・ 工事中の歩行者・バリアフリー動線について確保してほしい。</li> <li>・ 既存の生活動線は残してもらいたい。</li> <li>・ 工事のレーンは。</li> </ul>	<p>工事車両が入ることについては、近隣住民の方へのご説明はもちろん、工事中の動線経路についても公園利用者の方への配慮をできる限りしていきます。</p> <p>また、工芸美術館収蔵庫までの搬入動線についてですが、園路はあくまで公園利用者の安全、安心を優先するものであり、その舗装についても、公園に馴染むものとなるよう検討していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エレベーターの運用時間帯は。自転車の利用は。</li> <li>・ 工芸美術館の屋上部分はいつでも通過できるのか。</li> <li>・ エレベーターは1台で何人乗りか。</li> <li>・ エレベーターの運用について、サマータイムのように夏場は5時からなどの運用は考えられないか。</li> <li>・ 以前の計画の際に、自転車も乗れるエレベーターを地元の要望として伝えていた。</li> <li>・ エレベーター動線について、警備体制はどのように考えているのか。</li> <li>・ アートステージと版画美術館との区切りには、警備員を立てるなどして空調が乱れないよう対策をすべきではないか。</li> <li>・ アートステージと屋上部分の夜間が不安である。警備体制をきちんとしてほしい。</li> <li>・ 国際版画美術館の無料と有料の区域は。受付が新たに増えるのでは。</li> <li>・ エレベーターを下りてそのまま工芸美術館に入ることはできないのか。</li> <li>・ 原町田側から来る人は工芸美術館に入るのにわざわざ下まで降りないといけないのか。</li> <li>・ アートステージからエレベーターまでの動線も、現場説明としてみてみたい。</li> <li>・ 議会の答弁だと工芸美術館へ向かう出入口のルートとして2カ所という表現があるが。</li> <li>・ エレベーターを設置することで、国際版画美術館講堂の窓はふさがるか。</li> <li>・ エレベーター棟だけでも外に出してほしい。</li> </ul>	<p>エレベーター整備の目的は、工芸美術館の整備に伴い新設するエレベーターを活用することで、工芸美術館と版画美術館をシームレスにつなぎ、公園内の高低差の解消にも寄与する新たなバリアフリー動線として整備するものです。利用可能な時間や運用につきましては、地元の皆さまのご要望にも配慮して検討を進めてまいりますが、美術館の休館日についても利用できることを前提とした設計を行っております。</p> <p>エレベーターは、車イスやベビーカーなどの利用の方を考慮し、自転車利用については考えておりません。新しく整備するバリアフリー動線や工芸美術館の屋上部分も含め、園内については自転車から降りて押して通行できます。警備体制についても検討してまいります。エレベーターは、定員20名程度で計画しています。</p> <p>美術館の鑑賞を目的として訪れた場合の館内動線については、新設するアートステージをメインの入口とし、国際版画美術館の展示と(仮称)国際工芸美術館の展示の両方をお楽しみ頂ける流れを意識して設計しております。各展示フロアは屋内空間であるブリッジで接続されており、車いすの方やベビーカーをご利用の方でもスムーズに移動が可能です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の整備については賛成である。合唱のクラブに参加しているが、現在発表の場があまりない。そういった活動にアートステージを活用してみたい。</li> <li>・ 忠生の民俗資料を見れる場所(自由民権資料館?)で民俗資料を見ていた際に説明を聞きたかったが、係員の方は担当ではなく説明を聞けなかったことがあった。工芸美術館の整備にあたって、民俗資料についてもここで展示するなどして来園者が見ることができると良い。</li> <li>・ アートステージがわざわざ工房・けやきを無くしてまで整備するのが理解できない。美術館内に音が出る空間が作られるべきではない。</li> <li>・ 工房を無くすのは市民が望んだのか。工房を無くすことで版画美術館の文化財としての価値がなくなる。</li> <li>・ 版画美術館からもみじ園の景観を望むことができなくなり、美術館の価値が下がる。</li> <li>・ 国際版画美術館の工房、喫茶けやきを存続してほしい。アートステージを子どもたちの場として整備をするのであれば詳しく示してほしい。</li> </ul>	<p>国際版画美術館内に整備するアートステージについては、公園と美術館をつなぐ新たな顔として美術館の導入空間としての役割を担っています。アート(美術)を通して人々や美術品が集まり、みなさん自身にとって心地の良い時間を過ごせる場所として美術館がより価値ある場となるよう計画しております。</p> <p>この空間については、民俗資料等についてもこのスペースを活用できないか検討するなど、庁内の連携を図りながら収蔵品のより一層の活用や魅力的な展示のあり方などについて検討してまいります。</p> <p>国際版画美術館内の現在の工房機能については、ガラスや陶磁器など新たな分野も取り込むことで、現在の版画工房のご利用者はもとより、より多くの方にアート(美術)を体験し、学ぶきっかけの場として整備をします。こちらは工房機能に加え、飲食機能、パークミュージアムの運営拠点も含め複合化させたタイクンステージとして公園の未利用地を活用します。</p> <p>アートステージや体験工房の整備内容については、引き続き丁寧に説明や意見交換を行い、より多くの方にご理解頂けるよう努力してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がいを持つ方の就労先の保証すべき。それを念頭に置き体験工房の事業者を整理すべきである。</li> </ul>	<p>障がい者の方の雇用については、公園の中に障がい者の働く場を確保していきたいと考えています。</p>